

お客様・パートナー様各位

## fusion\_place 4.4 リリースのご案内

2016年6月24日  
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日、fusion\_place の新バージョン「4.4」をリリース致しましたことをご知らせ申し上げます。また、バージョン管理の方針を変更及び文書化致しましたので、当ご案内の末尾に付しております。併せてご確認下さいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向けリリースです。また、マイナーバージョンアップですので、fusion\_place cloud 及び premium のみ提供されます。

フルバージョン番号は、4.4.1-S100 です（バージョン番号の体系については、当文書末尾の「新しいバージョン管理方針について」をご覧ください）。

#### 2. ご提供方法

弊社（contact@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ（<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>）からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。弊社担当にご相談下さい。

#### 3. 主な機能改善点（4.2.0.3 対比）

##### （1）Windows 10 および Excel 2016 対応

- ① Windows 10 サポートを追加しました。#518
- ② Excel 2016 サポートを追加しました。#540

※ なお、Excel 2016 のデフォルト設定では、画面下部左端に表示される進捗メッセージが非常に読みづらくなります。「Office テーマ」をデフ

オルトである「カラフル」から「白」に変更すると、読みやすくなります。Office テーマは、Excel メニューから以下のルートをたどれば確認・設定できます。

ファイル>オプション>基本設定>Microsoft Office のユーザー設定>Office テーマ

## (2) シングルサインオン対応

シングルサインオン（LDAP による統合認証基盤との連携）に対応しました。詳細はユーザマニュアルの以下の箇所をご覧ください。#88

システム運用管理の手引き>08.シングルサインオン

## (3) フォームによるデータインポート機能の改善

- ① 取り込むべきデータ値の含まれるフィールド（以下、「値フィールド」）の位置を任意に指定可能としました（旧仕様では末尾に固定）#451
- ② 値フィールドを複数設けることができるようにしました（月別金額列、売上単価列と数量列など）#453
- ③ インポートに際して、暦年月から会計年度／相対期間を導出するといった条件判定を伴う変換処理を行えるようにしました。#12
- ④ インポートに際して、パラメータ値（POV 値）をもとにインポート対象データを絞り込める、あるいは対象データの項目を補完できるようにしました。#345
- ⑤ インポートデータの各フィールド値をもとに元帳に書き込むべきデータ値を算出できるようにしました。#11

※ 上記①②への対応のためにフィールド属性「値区分」を設け、どのフィールドが値フィールドであるかを示せるようにしました。また値フィールドにキーを指定でき、そのキーを用いて、書き込む先のセルのメンバラベルを指定できるようにしました。

※ 上記③④⑤への対応のために、算出フィールドの算出式欄でテキスト式を使えるようにしました。従来のフィールド式は文字列結合しかできませんでしたが、テキスト式を使用することにより、IF 条件式、各種関数などを用いて算出条件を柔軟に記述できます。ほとんどの場合、従来のフィールド式はそのままテキスト式と互換性がありますが、変換が必要な場合は当バージョンへの移行時に自動変換されます。詳細は、インストーラに同梱されている change-log.4.4.1-S100.txt をご覧ください。

#### (4) フォームによる表示機能の改善

- ① フォームのループでメンバのツリー構造に従ってタイトルを字下げすることを可能にするために、メンバリスト内でのカレントメンバの深さを取得する関数(@depth)と、最下位レベルからの高さを取得する関数(@height)をテキスト式に追加しました。フォームの列・行仕様のタイトル欄、及び列・行・セルの計算式で使用できます。#121
- ② 上記と併せ、字下げ幅分だけ空白文字などの埋め文字を出力できるよう、テキスト式に @repeat(文字列,繰り返し回数) 関数を追加しました。#471
- ③ 表示オプションに連動して、名称・ラベルなどの表示が切り替わる「説明」を表示するメソッド「desc」をテキスト式の各オブジェクトに追加しました。簡易版フォームでは「desc」を用いた場合と同様に行・列のタイトルを表示するとともに、フル機能版への変換時もタイトル欄の式には desc メソッドを用いるようにしました。また、フル機能版のループ仕様にタイトルを指定しなかった場合の動作も、desc メソッド値を表示するようにとしました。#126

#### (5) ディメンションのメンバプロパティに関する改善

ディメンションのプロパティ定義においてデータタイプ（列挙型又は文字列型）を指定可能とし、後者と指定されたプロパティについては、任意のラベルをプロパティ値として入力できるようにしました。列挙型の場合はこれまでと同じく、値定義一覧に登録された値のみ入力できます。#477

#### (6) Excel-Link 機能の改善

- ① ある Excel シートの Excel-Link 関係の設定を別のシートにコピーするための API (VBA プロシージャ) 「FP\_CopyConfiguration」を設けました。#501
- ② Excel-Link のリンク領域の順番を変えることができるようにしました。リンク領域の設定画面に「一覧」ボタンを追加。同ボタンで表示されるリンク領域一覧画面にて、リンク領域の順序を変更できます。#513
- ③ 従来、Excel-Link のテンプレート処理で「反映処理」を実行したとき、テンプレート範囲について、繰り返し反映回数に応じた繰り返しが行われませんでした。これはユーザマニュアルに記載された仕様通りですが、ユーザが通常期待するところとは異なると思われます。いったん反映した後は「取得と反映」実行時と同様に繰り返し反映回数だけ（または、計算結果が変化しなくなるまで）取得と反映処理を繰り返すよう変更しました。#539

## (7) リクエストの機能改善

- ① リクエスト及び Web-API でディメンションメンバをエクスポートできるようにしました（リクエストタイプ「EXPORT\_DIMENSION」を追加）。#455
- ② リクエスト及び Web-API でアプリケーションバックアップ処理を実行できるようにしました（リクエストタイプ「BACKUP\_APPLICATION」を追加）。#503
- ③ リクエストのエクスターナルモード利用時、16 進文字列形式で返された「返却内容」をバイナリ形式でファイルに保存できるようにしました。#503 でリクエストによるアプリケーションバックアップに対応しましたが、その場合、返却内容が 16 進文字列形式となります。それをバイナリ形式で保存できるようにする趣旨です。エクスターナルモードで「returned-contents-file=（返却内容ファイル名）」と記述した直後に、同じ行内でカンマに続けて「hex2bin」というキーワードを追加すれば当機能が適用されます。#525

## (8) その他

- ① ユーザアカウント管理画面で、パスワード最新変更日を確認できるようにしました。クリップボードにエクスポートされる項目にも追加しています。#476
- ② IPv6 環境においても各クライアントプログラムを使用できるようにするサーバ側オプションを設けました。#494
- ③ 各クライアントのメニューから選択する[オプション>オブジェクト表示]での選択項目として、「ラベルと名称」の逆に、名称を先に表示する「名称とラベル」を追加しました。#469
- ④ アプリケーション定義抽出時に、抽出日時を含む適切なファイル名が自動設定されるようにしました。また、ブラウザ・コントリビュータでのエクスポート機能、Excel 出力機能の出力ファイル名を見直し、アプリケーション、フォーム、POV（パラメータとして選択されたメンバのラベル）及び出力日時を含めるようにしました。#462

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された change-log.4.4.1-S100.txt をご覧ください。

#### 4. インストール方法

(クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。)

インストール手続き自体は旧バージョン(4.2 以前) と変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル(fusionplace-usermanual.chm)の以下の項目をご参照下さい：

「fusion\_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion\_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion\_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

(ア) データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。

(イ) 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上

## 新しいバージョン管理方針について

今バージョンより、バージョン管理の方針を変更し、併せて、バージョン番号の体系を整理しました。なお、当文書は当社の運用上のルールを記述するものであり、お客様との契約内容を変更するものではありません。新バージョンご提供に関する当社の契約上の義務は、使用権許諾契約、利用契約により規定された通りです。

### 新機能版と長期サポート版

従来、不具合修正は、極めて重要度の高いものを除き、最新バージョンを対象に実施しておりました。旧バージョンをご利用の場合、不具合に対処するためには、機能変更を伴う新バージョンにアップデートするしかない点、特に、オンプレミスのお客様からは改善のご要望を頂戴しておりました。これに対応して、新機能版と長期サポート版(LTS)を区別し、前者で新機能をタイムリーにご提供する一方、一定期間は不具合修正のみ適用したいお客様は後者をご利用頂けるようにすることとしました。

| バージョン<br>種別        | リリース時期                 | パッチバージョン*1<br>のリリース                  | EOM *2                                  | EOL *3  |
|--------------------|------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 新機能版               | 随時 (3~4 カ月<br>に 1 回程度) | されない<br>(不具合は次の新機能版<br>または LTS 版で修正) | —                                       | お問い合わせに<br>は、次の新機能版<br>または LTS 版のリ<br>リースから 2 カ月<br>後まで対応 |
| 長期サポート版<br>(LTS)*4 | 毎年 1 回 (8 月<br>を想定)    | される                                  | リリースから<br>1 年後または<br>次の LTS の<br>リリースまで | 次の LTS リリース<br>の 1 年後まで                                   |

\*1.機能性の変更を伴わず不具合修正、セキュリティ修正に特化したバージョン

\*2. EOM (end of maintenance): 不具合修正パッチ提供期間

\*3. EOL (end of life): セキュリティ修正パッチ提供および問い合わせ対応期間

\*4.Long-term Support Version、通称 LTS 版

今回リリースする「4.4.1-S100」は新機能版です。2016年8月に、上記の考え方に基づく最初の LTS 版をリリースする予定です。その際は、特例として、バージョン 3.3 系列, 4.0, 4.2, 4.4 系列について、2017年8月に予定される次の LTS 版リリースまで EOL を延長いたします。この間に、新バージョンに移行頂きますようお願い申し上げます。

なお、3.2 以前のバージョンをご利用のお客様は僅少と考えておりますが、そのようなお客様で、バージョンアップにご支障がある場合は個別にご相談下さい。

## バージョン番号体系

バージョン番号体系を整理し、以下のように定義しました。

**メジャー.マイナー.パッチ-S スキーマ**

例えば、当バージョン「4.4.1-S100」の場合、以下のようになります：

|             |   |      |
|-------------|---|------|
| メジャーバージョン   | : | 4    |
| マイナーバージョン   | : | 4    |
| パッチバージョン    | : | 1    |
| S スキーマバージョン | : | S100 |

各バージョンレベルの意味は以下の通りです：

| バージョンレベル    | 左記レベルのバージョン番号を改訂する条件   |
|-------------|--|
| メジャーバージョン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大きな機能追加等を実施した場合（LTS 版の場合は直前の LTS 版との比較において）。</li> <li>● 従来サポートしていた動作環境をサポート対象外とした場合。</li> </ul> |
| マイナーバージョン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記以外で、機能性を追加した場合。</li> </ul>  |
| パッチバージョン    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記以外で、不具合を修正した場合。</li> </ul>  |
| S スキーマバージョン | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記いずれかを問わず、データベースのレイアウトに関して以前のバージョンに戻せない変更を加えた時。</li> </ul>                                     |

- LTS 版のバージョン番号の末尾には LTS を付加します。例： 5.0.4-S100 LTS

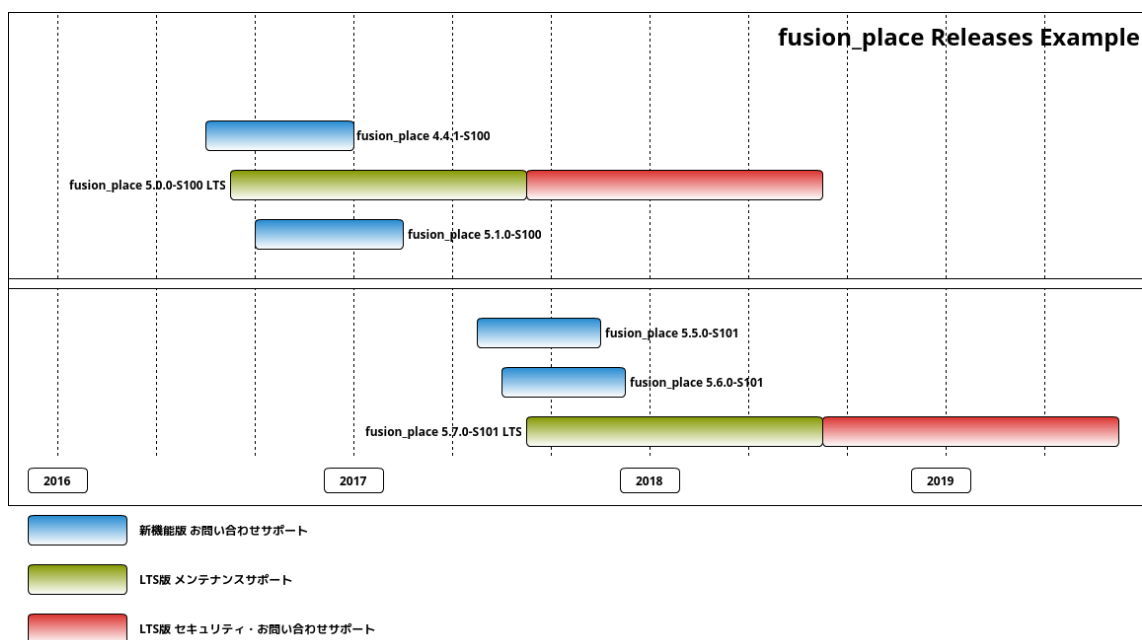
## 製品とバージョン適用

fusion\_place には、3つの製品／サービス cloud, premium, standard がございます。それぞれに対するバージョン適用方針は以下の通りです：

- fusion\_place cloud … 原則として、最新のバージョン（新機能版または LTS 版）かつ最新パッチバージョンを適用します。事前にバージョンアップ予定をご提示し、お客様からのリクエストがあれば、適用タイミングを遅延します。
- fusion\_place premium … すべてのバージョンをリリースします。
- fusion\_place standard … 原則として、LTS 版及びそれに対するセキュリティ修正パッチバージョンをリリースします。重大な不具合が発見された場合は例外として不具合修正パッチバージョンをリリースします。

## スケジュール例

下図は、リリーススケジュールについてイメージをお持ちいただくための例です。バージョン番号、年度は仮のものでございますのでご留意お願い致します。



以上